

市町村名		南大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ		
	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		沖縄振興基本方針該当箇所		III-9		
担当部課名	福祉民生課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度			
事業内容	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを2年に1度、南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,996	1,996	1,996	509	509
		(b) 予算現額	407	499	474	654	536
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,589	▲ 1,497	▲ 1,522	145	27
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		407	499	474	654	536
	B. 執行済額		407	499	474	654	536
	うち交付金充当額		325	325	325	523	428
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		検診のための検査技師等スタッフ来島渡航費の委託料は、合計535,680円(結核・肺がん検診193,080円、大腸がん検診63,700円、乳がん・子宮がん・骨粗しょう症検診278,900円)で実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	1. 胸部レントゲン使用料の折半	目標	( 使用料の折半の実施 )	( 使用料の折半の実施 )	( 使用料の折半の実施 )	( 使用料の折半の実施 )	
		実績	使用料の折半の実施	未実施	使用料の折半の実施	未実施	
	2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	目標	( 補助の実施 )	( 委託の実施 )	( 委託の実施 )	( 委託の実施 )	
		実績	補助の実施	委託の実施	委託の実施	委託の実施	
達成状況説明	令和2年度も昨年度に引き続き、一般財団法人沖縄健康づくり財団より、検査技師等スタッフの派遣により集団検診を継続して実施することができた。又、検診受診率も対前年比及び令和2年度の成果目標も上回り達成することができた。よって、受診した住民1人1人の健康状態が確認ができた。又、受診した住民の再検査を要した方には通知により再検査を奨励することができ、重篤化に至らず早期治療につながった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(H23年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	集団検診受診率の増(32%増)	目標	( 325 )	( 320(32.4%) )	( 313(32.5%) )	( 320(33.3%) )	( )
		実績		453人(45.9%)	465人(48.3%)	530人(55.2%)	
	【参考指標】胸部レントゲン撮影者数	目標	( )	( 320(32.4%) )	( 313(32.5%) )	( 320(33.3%) )	( )
		実績		317人(32.1%)	313人(32.5%)	420人(43.7%)	
進捗状況説明	各種がん検診実施のための、検査技師等スタッフの派遣により、継続して実施できた。また、胸部レントゲン車の海上移送はできなかったが、胸部X線の撮影を島内の診療所で実施できた。成果としては、集団検診受診率が対象者960人に対し530人(55.2%)前年度比6.9ポイントの増、胸部レントゲン受診率が対象者960人に対し420人(43.7%)前年度比11.2ポイントの増となりいずれも令和2年度の成果目標を上回り効果をあげた。						

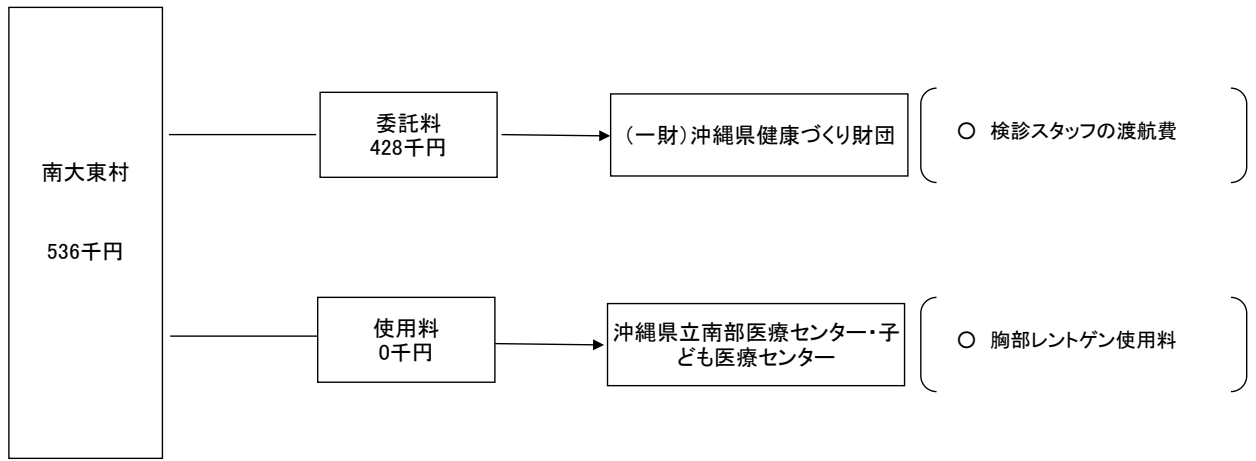
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>集団検診と胸部レントゲン検診受診率はいずれも昨年度実績及び成果目標を上回ったが、胸部レントゲン検診の受診率が住民検診より減少傾向にある。要因としては、県立南部医療センター・子ども医療センター付属南大東診療所のレントゲンを使用するが土日祝祭日しか使用可能な日程を確保できないため、集団検診と同日に使用することができない状況にあるためである。よって最悪でも集団検診受診日と胸部レントゲン受診日の日程を可能な限り開けない対策を講じているがそれでも胸部レントゲン受診率の減少に至っている。</p>	<p>胸部レントゲン検診の受診率向上を図るためには、集団検診と同日に行うのが最善で望ましいが、診療所の使用条件においてどうしても同日に行うことができないため、胸部レントゲン車の移送実現を目指す必要があり、沖縄本島の各医療機関に交渉し本村への移送を交渉していく。</p>

**今後の取り組み方針**

本村には集団検診を受診する医療機関が未整備であるため、今後も例年どおり、集団検診と胸部レントゲン検診の受診を実施することで、住民のがん等の早期発見、早期治療を推奨させるため、検診における検査技師等の専門スタッフの渡航費用を支援していく。又、集団検診受診及び胸部レントゲン受診の受診率向上も図りながら住民の健康増進にも引き続きつなげていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

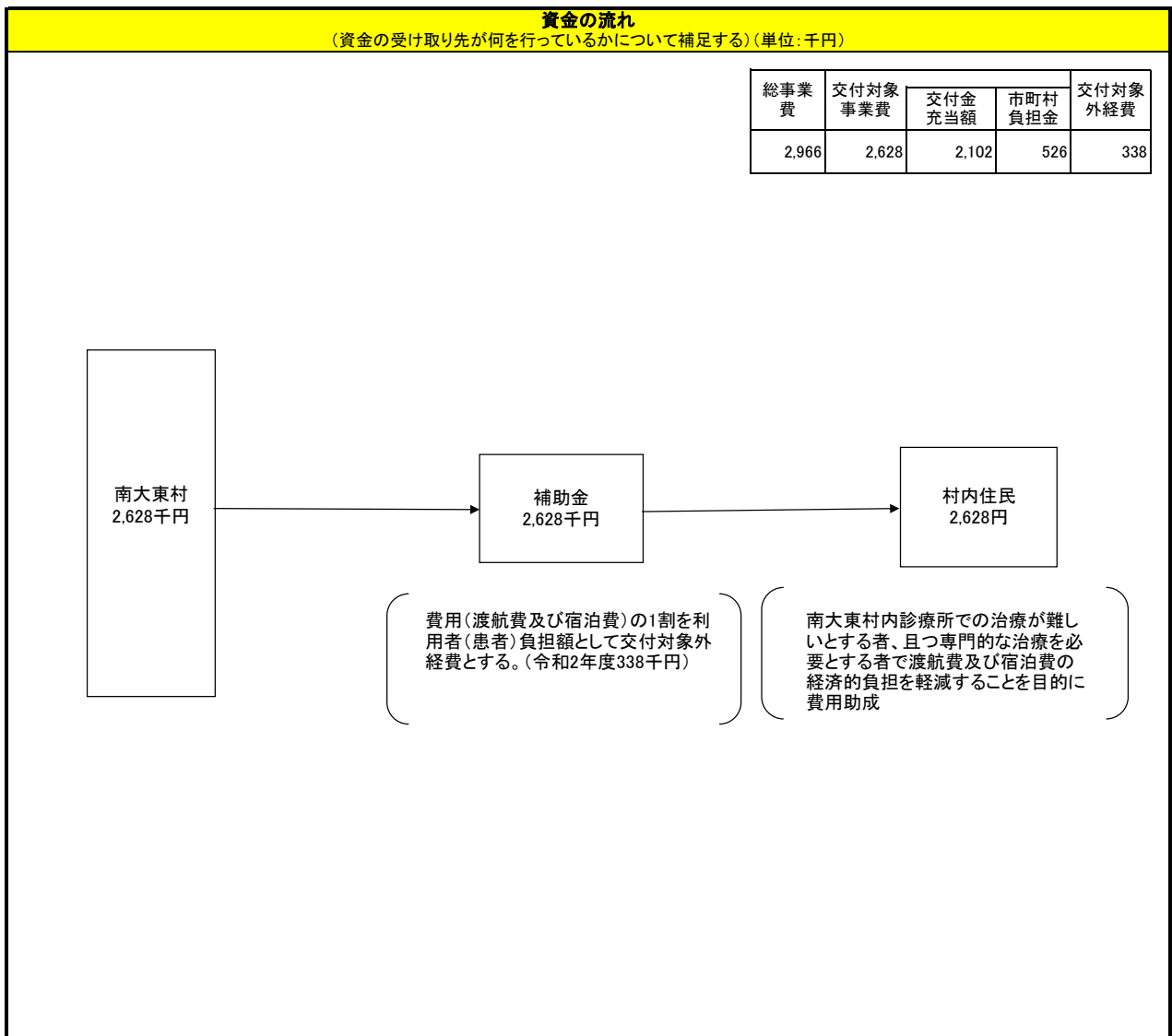
総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
536	536	428	108	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-②	専門病院受診渡航費助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
担当部署名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9	
事業内容	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(a) 当初予算額	5,912	5,912	6,568	6,573	5,969
		(b) 予算現額	7,791	8,054	7,978	2,633	2,628
		(c) 増減額(b-a)	1,879	2,142	1,410	▲ 3,940	▲ 3,341
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	7,791	8,054	7,978	2,633	2,628
		B. 執行済額	7,790	8,054	7,978	2,633	2,627
		うち交付金充当額	6,232	6,140	6,140	2,106	2,102
次年度繰越額	0	0	0	0	0		
執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	当初予算では330人を想定し、予算計上したが、新型コロナウイルス感染症対策等に伴い渡航する対象者が131人と大幅に減少した。 【助成金利用者内訳】 対象者124人/2,535,168円、付添人7人/92,862円、合計131人/2,633,059円(2,634千円) 5人/59,535円、小児のみ 6人/93,240円						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	専門病院受診渡航費助成の実施	目標	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	( 助成の実施 )	
		実績	助成の実施	助成の実施	助成の実施	助成の実施	
達成状況説明	制度対象者へは、診療所または申請窓口において、直接案内できた。H27~H30年度までは概ね300人余から400人余の実績であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策等に伴い島外への渡航自粛等も重なり131人と大幅に減少したが島外への専門病院にて治療、検査及び受診を必要とする患者や付添人の全てに渡航費を助成することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	(    )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	(    )
	渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費支援を要望する人への支援率100%) 当初支援人数見込:340件	実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】 支援実施件数131件	目標	(    )	( - )	( - )	( - )	(    )
		実績		410件	137件	131件	
	進捗状況説明	成果目標の件数は、受診見込みの件数と付添人は、中学生以下、認知症、障害がある者等、ひとりでの移動が困難な場合等を勘案し、おおよその見込みで計上した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策等に伴い渡航を控えたため、大幅に減少したが支援を希望する方全員へ支援を行うことができた。 制度対象者へは、診療所または申請窓口において、直接案内できたことからH27は実績375人、H28は410人、H29は414人、H30は410人でH28年度以降はほぼ横ばいの実績であったが、R1年度は137人、令和2年度は131人と大幅に減少した。 例年どおり、診療所が「紹介状発行証明書」の発行を行い、保健センターへの提出という流れへと誘導することで例年同様、必要書類の案内及び手続方法をチラシ及び口頭案内することができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	申請時等における添付書類として、 ①急患空輸患者(急患空輸要請書)、 ②沖縄本島専門医療機関主治医による診断書、 ③専門医療機関の領収書、 ④渡航費領収書、 ⑤搭乗券または乗船券(証明書含む) ⑥手術・入院の受診証明書 ⑦40歳以上の胃がん検診・マンモグラフィ検査受診者の受診票の提出。 ※例年上記の書類等を必要とするが特に高齢者や初めて受診する方においては添付漏れや不備が多くみられ、手続き等に時間を要していたが令和2年度においては助成件数が大幅な減少に伴い添付漏れや不備も減少していた。	左記の推進上の留意点において、渡航費用の助成に係る申請において必要書類等の不備や添付漏れ等が、特に初めて治療や検診受診される方や高齢者に例年多く見られる。よって、改善の余地としては、事業担当の方よりわかりやすい説明資料の作成、高齢者の方には家族やその他支援者の援助を求めるなど、対策を講じているが引き続き粘り強く制度の趣旨も踏まえ説明していく。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>今後も村内診療所において、専門治療及び加療が必要な患者の渡航費助成を行うことで、経済的な負担軽減により、診療治療が中断することなく、専門医療機関での継続治療を促し、健康増進に繋げる。</p> <p>(1)患者自身の判断で、専門治療渡航費の助成とならないように、適正運用に向け、書類の提出要件については今後とも同等としていく。</p> <p>(2)渡航費の不足など、経済的理由により受診が遅れないようにしつつ、安易な理由(検査)で受診することにならないよう、また、書類不備が生じないよう、対象者へ窓口での説明や保健センターだより等広報媒体における制度説明を引き続き実施していく。</p> <p>(3)書類不備を防ぐため、家族等に合せて説明を行えるよう役場への同行等について協力を求めていく。</p> <p>(4)その他申請漏れ、添付書類等の不備による事務手続きを速やかに行うため、上記の「推進上の留意点」及び「改善余地の検証」を改めて認識した上で更なる円滑な事務処理に努めていく。</p>		



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。 ○不用額は事業費の1%以内であり適正な規模であった。 ○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-③	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,641	14,753	12,422	29,980	29,577
		(b) 予算現額	12,995	13,121	13,455	26,603	28,616
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,646	▲ 1,632	1,033	▲ 3,377	▲ 961
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	12,995	13,121	13,455	26,603	28,616
		B. 執行済額	12,995	13,121	13,455	26,603	28,616
		うち交付金充当額	10,395	10,497	10,763	21,282	19,300
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	当初は29,577千円を計上していたが、台風その他悪天候等による海上時化の影響で船舶の航海数が減ったため、▲961千円事業費の減となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援		目標 ( 支援 )	( 支援 )	( 支援 )	( 支援 )	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
	達成状況説明	令和2年度も台風及びその他時化の影響で航海数が減少したが令和元年度と比較すると減少幅は大きくない。よって令和2年度も航海数が減少した分、何店舗かは航空輸送申請にて利用に至っている。 ※航空輸送分に関しては令和2年度より県の補助事業(緊急時生活物資航空機郵送費補助事業費)に伴い交付対象外とした。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(H23年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小		目標 ( 142.5 )	( 価格差の縮小 )	( 価格差の縮小 )	( 価格差の縮小 )	( )
	※価格差は県で行っている物価調査を使用している。		実績	指数:119 23.5ポイントの価格差の縮小	指数:116.6 25.9ポイントの価格差の縮小	指数:122.6 19.9ポイントの価格差の縮小	
	進捗状況説明	R1年度に続き、補助対象となっている店舗による商品の値引き等がR2度も実施されていた。商店によっては各商品を値下げするとあまりお客様の実感がわかりづらいということで数回セールを行っていた。セールの際も本事業で軽減されたセールということも提示することで周知し、各店舗の協力と努力がみられた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・全ての品目を平均的に値下げをすると、価格低減の実感が薄れる懸念がある。又、年数回のセール等で価格低減の実感度の向上を図る取組を実施しているがそれだけでは事業効果を実感する機会も減少してしまう恐れもある。</p>	<p>例年どおり引き続き補助対象の店舗に置いては、商品の値引きシールの貼り付けを目立つように徹底させ広報を促す必要がある。又、補助対象店舗に補助を受ける際に必要な手続きを実施することで事務の効率を図っていく。</p> <p>輸送費及び作業経費等の算出に係る事務作業も多大な時間を要する為作業効率の向上を図る必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・引き続き各店舗に値引きシールを貼るよう依頼していく。</p> <p>・補助対象店舗に対し、航空機輸送の際において提出する資料の記載事項を再確認してもらうよう依頼していく。</p> <p>・上記の取り組みを行うことで、航路事業者、各商店に円滑に補助金の支払、補助額の通知が毎月出来るように努めていくとともに、各商店との間で航空機輸送に対する補助の実施にあたっての流れを確認し、円滑な補助実施に努めるほか、島民に対して補助事業の成果をわかりやすく周知できるようにしていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,616	24,126	19,300	4,826	4,490

```

graph TD
    A[南大東村  
13,454千円] --> B[補助金  
24,126千円]
    B --> C[卸売業者等]
    B --> D[航路事業者等]
    B --> E[登録事業者  
(離島小売店)]
    C --> F[住民等]
    D --> F
    E --> F
    
```

※飛行機輸送の場合は登録事業者へ直接支払われる。

資金使途の流れ、点検、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○輸送経費・作業経費補助内容にそった航路事業者で支出先は妥当である。</p> <p>○不用額については、天候や事務処理上の必要性から生じたものであり、事業内容に見合った適正な規模である。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

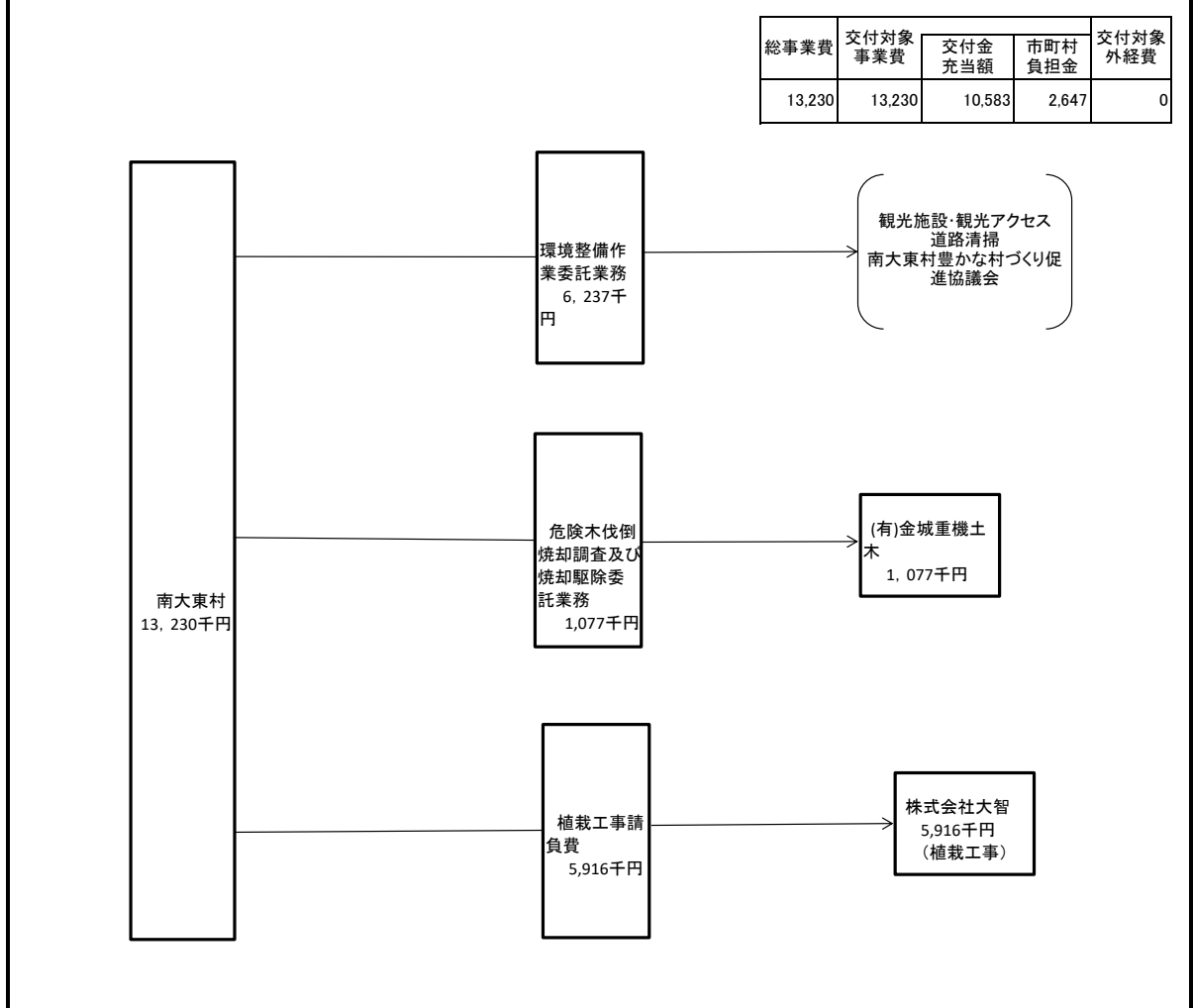
市町村名	南大東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-①	花いっぱいクリーン環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興
事業内容	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A) 予算の状況の説明	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		9,381	10,753	13,205	13,210	12,412
		8,167	12,769	13,054	12,063	13,230
		▲1,214	2,016	▲151	▲1,147	818
		8,167	12,769	13,054	12,063	13,230
		8,166	12,252	13,054	12,063	13,230
		6,532	9,801	10,443	9,650	10,583
		0	0	0	0	0
		100.0%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		・当初は13,525千円で予算を計上したが、天候不良等により美化清掃作業ができない場合があり▲675千円、危険木伐倒焼却駆除対象調査で110千円増、危険木伐倒焼却駆除で967千円増、植栽工事で416千円増、計818千円の予算増となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 13箇所、アクセス道路 2箇所)	目標 ( 12箇所 ) 実績 12カ所	( 12箇所 ) 12カ所	( 12箇所 ) 12カ所	( 15箇所 ) 15箇所	
達成状況説明	・令和2年度は観光地13箇所、アクセス道路2箇所の15箇所において美化清掃を実施した。 ・村内の観光地へ植栽工事を行うアクセス道路付近の危険木伐倒焼却駆除対象木の調査業務及び、伐倒焼却駆除業務を実施した。 ・村内の観光地(塩屋海岸)へ続くアクセス道路へサルスベリの植栽を実施した。(746㎡)					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光客を対象に観光地やアクセス道路について、アンケートによる美化満足度調査(満足度70%以上)	目標 ( 満足度70%以上 )	( 満足度70%以上 )	( 満足度70%以上 )	( 満足度80%以上 )	( 満足度80%以上 )
		実績	満足52% 普通43% 不満5%	未実施	満足57% 普通14% 不満29%	
進捗状況説明	・美化緑化されたアクセス道路が増えることにより、観光地の良い目印になり、更にたどり着くまで景観を楽しむ事も出来るため景観の向上に繋がったものとする。令和2年度は観光客等におけるアンケート調査で満足度においては平成30年度より57%と3ポイントアップしたが、目標の80%には到達していない。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も植栽工事や美化清掃作業を実施するにあたり、周辺の枯れ木や台風等で倒木が予想される危険木等の調査及び除去の必要がある。又、美化清掃作業においては、過去に備品で導入した草刈り機等で面積の広い場所においては効率よく作業が行えている。</li> <li>観光地やアクセス道路の美化についての観光客へアンケート調査結果では57%で成果目標の80%には届いていない現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査した危険木は速やかに駆除焼却等を実施することで、美化清掃作業及び植栽工事の安全性を図っていく。又、植栽した花木(ハイビスカス、サルズベリ)は成長していく段階で枝が乱雑になるため、定期的な選定作業等を行っていく。</li> <li>アンケートにより観光地の美化について不満と回答した理由としては周囲の景観は良いが、トイレの清掃が行き届いていない場合や資料館等の展示品が整理されていないのが主な要因であるため、改善していく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

美化の景観においては周囲の清掃作業と同時にトイレの清掃回数を増やし又、資料館等の展示品の整理を徹底に努めることで、観光客等へ美化の満足度アンケートも着実に、目標の80%以上の達成に努めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は、指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	南大東村						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-①	人材育成派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	島内の児童生徒を対象に島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額		3,870	4,275	5,571	5,857	7,250
			2,880	2,550	2,855	3,203	862
			▲ 990	▲ 1,725	▲ 2,716	▲ 2,654	▲ 6,388
			—	—	—	—	—
	A. 計(b+d)		2,880	2,550	2,855	3,203	862
	B. 執行済額		2,880	2,549	2,855	3,203	862
	うち交付金充当額		2,303	2,309	2,284	2,284	689
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初は体育系9大会、文化系9大会で7,250千円で予算計上したが、新型コロナウイルス感染症対策等に伴い体育系の第43回那覇地区中学校夏季バトミントン大会(男子)163千円、第43回那覇地区新人バトミントン大会(男女)699千円のための派遣となり、6,388千円の予算減額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施		目標 (      実施      )	(      実施      )	(      実施      )	(      実施      )	
実績		実施	実施	実施	実施		
達成状況説明		今回は、新型コロナウイルス感染症対策等の影響により、各種大会の殆どが中止となり、第43回那覇地区中学校夏季バトミントン大会(男子)と、第43回那覇地区中学校新人バトミントン大会(男女)に絞られたが、大会派遣に対する支援の実施ができた。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
			目標 (      )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	(      )
	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含めてアンケートを実施		実績	100%	100%	100%	
進捗状況説明		今回は、新型コロナウイルス感染症対策等の影響により、各種大会の殆どが中止となり、第43回那覇地区中学校夏季バトミントン大会(男子)と、第43回那覇地区中学校新人バトミントン大会(男女)に絞られたが、大会へ派遣された後、生徒達が派遣されたことにより広い視野が持てたかのアンケート実施では100%視野が持てたとの回答を得ることができた。					

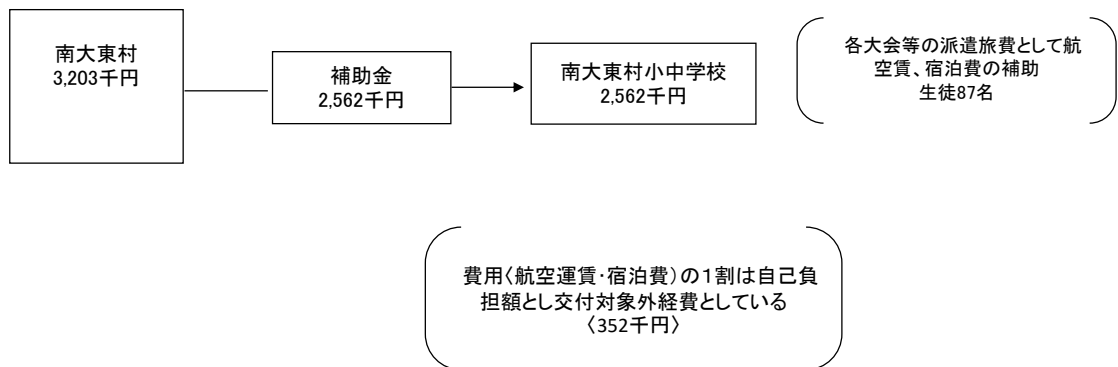
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・取り組みを行うことで、以下のような結果を得られるとともに、離島の子供達が経済的理由により本島の大会等へ参加困難となる状況を解消することができ、人材育成につなげるとともに、離島では経験できない多数の同年代の児童・生徒等と競技等を通しての交流を行うことができている。</p> <p>・今回は新型コロナウイルス感染症対策等の影響により、例年より各種大会の殆どが中止となったが、第43回那覇地区中学校夏季バトミントン大会、男子シングルス2名のうち、1名はベスト16、ダブルス2組のうち1組はベスト4と検討した。又第43回那覇地区新人バトミントン大会では、男子団体戦では初戦敗退したが、シングルス5名では全員が初戦勝利、2名が2回戦まで勝利した。女子では団体戦でベスト16まで進出し、ダブルスでは、3組中2組が初戦勝利、1組がベスト16と検討した。</p>	<p>・大会参加の目標を100%として、引き続き日頃からの練習や、体調管理を徹底する必要がある。</p> <p>・対象となる経費や必要な書類の提出時期等について引き続き学校側へ周知し協力を求めていくことで、円滑な事務執行につながっていくものと考えられる。各種大会へ参加するからには、少しでも上位成績を残せるような練習方法、意識の改革を生徒自身、関係者も検討していく必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

例年同様今後も各種大会へ派遣されることでそれらの意義を見つめ、意識改革を行いながら目標を持たせていく。又、経験した結果を見つめ直し今後の判断材料としてつなげて活かせるように努めさせる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
958	862	689	173	96



資金の流 れ、点 検、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○児童生徒・指導者の補助で妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算として計上している金額は、目標達成時の額なので妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金90%、個人負担10%とし保護者負担は妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績報告書を確認しており事業目的に則した者であったと判断した。